

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年7月16日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県彦根市清崎町60番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社レゾナック 彦根事業所(清崎)  
事業所長 平岡 宏一

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社レゾナック 代表取締役社長 高橋 秀仁
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社レゾナック 彦根事業所(清崎)								
事業所の所在地	滋賀県彦根市清崎町60番地								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	9	9	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 — その他の電気機械器具製造業			
事業の概要	半導体基板の製造								
従業員の数	66	人	作業時間	24	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input checked="" type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	1	台	照明設備	約400	台
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備	約60	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和5	年度	報告対象年度	令和6	年度
	終了年度	令和9	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

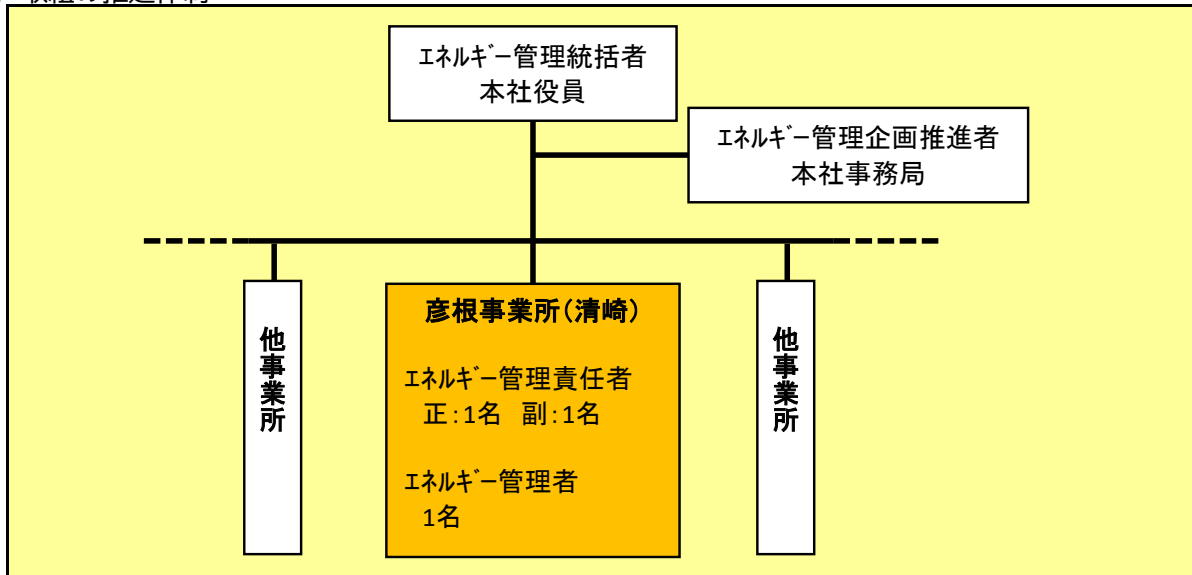
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

(当社HPより抜粋)当社は、各種製品の製造工程で化石原燃料を使用しており、温室効果ガス(以下、GHG)を排出する一方、省エネルギー・炭素循環に貢献する製品も数多く有していることから、気候変動への対応はリスク・機会の両面より重要な経営課題と捉え、2019年5月に「気候関連財務情報開示タスクフォース」(TCFD)に賛同しました。気候変動が当社に及ぼすリスクと機会を評価し、シナリオ分析の内容を踏まえた取り組みを通じてレジリエンスを強化するとともに、TCFDのフレームワークに基づいた情報開示を進めステークホルダーとの対話を推進していきます。世界的な気候変動が頻発し、科学的に温室効果ガス(GHG)がその原因であると認識されています。「パリ協定」において、地球の平均気温の上昇を産業革命以前と比較して2℃未満に抑える「2℃目標」が設定され、さらに今後その対応が加速されていくと予測されます。レゾナックは長期ビジョンでの目指す姿「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」として2050年に向け、カーボンニュートラルに挑戦します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネ診断受診履歴なし

## (第2面)

## 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	水銀灯照明をLED照明に順次更新	継続実施	継続実施中
2	運用改善	事務所照明の個別点灯	継続実施	継続実施中
3	運用改善	空調設定温度の適正管理	継続実施	継続実施中
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	HFCs	フロン類の確実な回収及び破壊への協力	発生都度	都度実施中
2				
3				

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>当事業所には半導体基板製造工程があるが、新製品であり生産量が社外秘となっている為、温室効果ガス総排出量[t-CO<sub>2</sub>]を面積3400m<sup>2</sup>で割った数値を原単位とする。</p> <p>全社方針では温室効果ガス総排出量[t-CO<sub>2</sub>]を2013年(平成25年)比で2030年(令和12年)を▲30%となっている為、これを踏襲し、上記原単位を▲30%を目標とする。</p> <p>平成26年～令和12年の17年間で▲30%である為、その途上の令和9年(14年目)は比率により、▲30%×(14年/17年)で▲25%とする。</p>	<p>令和6年度は令和5年度に対し、原油換算エネルギー量は微減であった。</p> <p>しかし、エネルギーの大半を占める関西電力からの購入電力の排出係数が大幅に上がった為(0.36→0.419kgCO<sub>2</sub>/kwh)CO<sub>2</sub>が大幅増となった。</p>

## (4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	(R9)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,908	1,702	1,680			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	2,288	2,727	3,133			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	2,286	2,024	2,174			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	700	956			
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>	2	2	2			
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>	1	1	1			
HFCs	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0			
PFCs	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0			
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0			
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0			
エネルギー等原単位の推移		0.673	0.802	0.922			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	工場建屋 屋根上リース自己消費太陽光発電導入検討	令和9年3月迄	現在の所、築年数が古い為、リース業者に断られている。
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	0 kW	その他 ( )	0 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	(R9)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0			
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0			

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
	CO <sub>2</sub> 削減貢献量
	t-CO <sub>2</sub>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
CO <sub>2</sub> 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	(R9)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	2,377	3,444	3,133			
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>	2,379	2,741	2,174			
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.311	0.434	0.419			
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	(R9)年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0			
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0			
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	車両燃料 節約	待機中の入出荷業者車両に対し、熱中症等に問題 の無い範囲でのアイドリングストップ呼びかけ	継続実施	継続実施中
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	(R9)年度
	保有車輛の数	台	7	7	7			
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	1	1	1			
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	分別適正化により産業廃棄物埋立処分率0.5%以下	継続実施	継続実施中
2	その他	新入社員への環境教育	継続実施	継続実施中
3				
4				
5				